

地域連携推進会議 議事録			
2025 年 9 月 20 日	10 : 30～11 : 30		
場所：グループホーム若あゆ		出席者 理事長 1 名・グループホーム管理者 1 名・世話人 1 名 自治会長 1 名・利用者 2 名・利用者保護者 2 名	
1. 施設等のサービスの透明性・質の確保			
(1)利用者の日常の様子について			
・ 平日(月曜日～金曜日)			
6 : 3 0 起床 7 : 0 0 朝食 9 : 3 0 通所 1 5 : 3 0 帰寮 1 6 : 0 0 入浴開始			
1 8 : 3 0 夕食 1 9 : 3 0 自由時間 2 1 : 0 0 就寝			
・ 土曜日			
6 : 3 0 起床 7 : 0 0 朝食 8 : 3 0 自由時間 1 2 : 0 0 昼食			
1 3 : 0 0～1 5 : 0 0 自由時間 1 5 : 0 0 おやつ 1 6 : 0 0 入浴開始			
1 8 : 3 0 夕食 1 9 : 3 0 自由時間 2 1 : 0 0 就寝			
・ 日曜日 上記朝食後、8 : 0 0～9 : 0 0 順次帰宅			
☆月 1～2 回イベント有			
☆利用者様、自由時間は共用ホールで談笑しながら TV や YouTube を観たり、自室で思い思いに自分時間を楽しんでいます。			
☆食事の提供は、土曜日の昼食以外は調理師の手作りご飯です。土曜日の昼食は市内の食堂から仕出し弁当を取り寄せています。(1 食 500 円おかずのみ)			
(2)令和 6 年度経営状況について			
※別紙参照			
(3)BCP の策定状況について			
障害福祉サービス事業所では BCP(事業継続計画)というものの作成が令和 6 年 4 月 1 日より義務化されました。グループホーム若あゆでは感染症に関する BCP、災害に関する BCP の 2 種類を作成し、要件に該当した場合はそれに沿って、施設の復旧をいち早く実施しています。※別紙参照			

2. 施設等・地域の連携

(1)地域からの要望・苦情等の共有

- ・障害を持った方との触れあえる機会、キッチンカーの招致（グループホーム）やいきいきサロン（自治会）等、を行っているが、その裾野が広がらない。
- ・自治会にて協力できるようなことがあれば協力する。
- ・地域の子供たちなどと触れあえるイベント・機会などあれば良いと思う。
- ・自然エネルギー勉強会など、とても良い交流の機会だったと思った。（GHにて8月開催）
- ・赤城乳業の見学など子供たちや地域の方などと一緒に行ける機会などあれば良いのではないかと考えている。
- ・障害を持った方、そうではない方も交流を通じて、お互いに勉強になることもあるのではと。
- ・障害を持った方に対して声掛けをどのようにしたらよいのか？と考えてしまうこともある。

3. 利用者の権利擁護

(1)虐待防止、事故などの報告

- ・今現在、虐待の実態や大きな事故はありません。
- ・虐待防止・権利擁護研修を年度内一回以上、職員全員が受講しています。
- ・虐待防止委員会を年度内に一度、開催しています。
- ・事故が起きた時や未然でも職員がヒヤリと感じたときは【ヒヤリハット集】に記録し、月一度の職員会議中に事例を検討・精査しています。

(2)支援者の様子

- ・管理者以下12名(正規職員1名・非常勤職員12名)で、10名の利用者様をシフト制で支援しています。
- ・【ワンチームによる支援】をコンセプトに【ほう・れん・そう】を心掛けながら勤務に従事しています。
- ・今年度で11年目を迎えましたが職員13名中5名が11年目、2名が10年目、2名が9年目、2名が7年目、1名が3年目、1名が2年目となっています。
- ・月一度の職員・支援会議や定期的な研修を受講して、プロの福祉の仕事人を目指しています。

4. 参加者にてグループホーム若あゆの施設見学を行いました。